**新規な可視光応答型触媒を用いた環拡大反応の機構解明**

（京大院工1・東北大院理2・東大院工3）日本 光太1・研 光一2・光石 陽子3

**A Mechanistic Study on Ring Expansion using a Novel Photocatalyst Responsive to Visible Light**

(1Kyoto Univ.; 2Tohoku Univ.; 3The Univ. Tokyo) NIHON, Kota1; KEN, Koichi2; MITSUISHI, Yoko3

Abstract: In order to elucidate …

【序】　最近，我々は・・・

【実験】光照射時間は、・・・

【結果と考察】Fig. 1は、・・・

*斜体で書かれた以下の注意事項は、予稿作成後に削除してください。*

*発表申込の際に登録した内容と異なる講演題目・所属機関・著者名を記載することはできません。登録内容を確認の上、下記に従って予稿を作成し期日までに投稿してください。*

*※　作成上の注意点*

1. *用紙はA4版・縦・2ページです。上下左右の余白は25 mmで、行間は1行です。*
2. *日本語フォントはMS明朝で、英語フォントはTimes（もしくはTimes New Roman）およびSymbolです。フォントサイズは11 ptです。ただし、日本語の講演題目のフォントサイズは太字の14 pt (Bold)で、英語の講演題目のフォントサイズは11 pt (Bold)です。*
3. *講演題目・所属機関・著者名は、日本語と英語で併記してください。また、登壇者の氏名（日本語氏名・英語氏名）に下線を引いてください。*
4. *英語の著者名の下を1行空けて、英文概要（150単語以内）を書いてください。*
5. *英文概要の下を1行空けて、本文を書いてください。なお、Table caption, Figure caption は英語で書いてください。*

*※　投稿上の注意点*

1. *すべてのフォントが埋め込まれたPDF形式の予稿ファイルを、予稿投稿専用サイト（**<https://photochemistry.confit.atlas.jp/login>）から投稿してください。なお、PDFファイルの「フォントの埋め込み」状況は、作成したファイルのプロパティを調べることで確認できます。*
2. *予稿投稿の締切日は、7月6日（水）です。*

[1] H. Koshima, H. Nakaya, H. Uchimoto, N. Ojima, *Chem. Lett.* **2012**, *41*, 107.

[2]

[3]

[4]